

多言語AIチャットボット「ObotAI」が、業界で初めてベトナム語に対応

株式会社ObotAI（以下、「ObotAI」という。）が提供する多言語対応AIチャットボット「ObotAI」は、日本語・英語・中国語（簡体語・繁体語）・韓国語・タイ語・ロシア語に対応したチャットボットで、今回、ベトナム語を追加して8言語への対応が可能になりました。

チャットボットは、インターネット上でリアルタイムにコミュニケーションを図るため、主にテキストでやり取りをする「チャット」と、ロボットの「ボット」を組み合わせた言葉で、人工知能を活用した「自動会話プログラム」のことです。

多言語対応AIチャットボット「ObotAI」は、従来の定型文だけで回答するチャットボットとは異なり、使用するほどAIが学習し、利便性が向上していきます。外国人ユーザーも快適に利用することができます。

また、各種SNSやAIスピーカー、デジタルサイネージ等と連携することができ、多言語でのタッチパネル入力や音声入力・音声出力も可能です。直感的な操作を重視しているため、使い勝手が良く、さまざまな公共施設や商業施設の無人インフォメーションセンターなどで幅広く利用されています。

ObotAIの担当者は、ベトナム語を追加した理由を「就労や留学が目的で日本国内の在留ベトナム人の増加が見込まれることから、ベトナム語がサポートできるAIチャットボットの必要性を感じて追加しました。」と話しています。また、「ベトナム語は、北部と南部では全く違う言語に聞こえるぐらい、方言が多岐に渡り、人称代名詞が多彩で言語解析の技術でチャットボットのエンジンを構築するのは難しいとされてきました。しかし、技術のアップデートを継続したこと、また、チャットボットを開発するネイティブスタッフに対し、設計～翻訳～構築～更新等のサポート面でチャットボットのデータ構築に特化した教育を行い、彼らを中心に開発を進めたことで、サービスが可能となりました。」とベトナム語の特性に合わせたアップデートを重ね、開発を進めたことで対応が可能となった経緯を話しました。

さらに、「ベトナム語は他のチャットボットでの対応が少ない言語であったため、特に自治体等からの問い合わせが増えています。「ObotAI」は、自治体の新型コロナウイルス感染症および新型コロナワクチン接種ボットにも対応し、現在、40件以上の自治体でベトナム語でのサービス提供も始めました。」と自治体での利用が広がっていることを紹介しました。利用者からは、「ベトナム語の場合、機械翻訳などで正確に翻訳されているかどうか確認をすることも難しく不安だったが、ネイティブ翻訳であれば安心することができる。」といった声も聞かれているとのこと。

最後に、「併せて展開している会議議事録作成ツールや、「ObotAI」も対応言語の拡大をさらに図りたい。」と今後の展望について話しました。



問い合わせ先

ObotAI株式会社

電話 : 03-3221-5085 Email : info@obot-ai.com URL: <https://obot-ai.com/>